

## 住民説明会議事録（鎌倉市）

- 1 **開催日時** 令和元年 12 月 21 日（土）10 時から 12 時まで
- 2 **開催場所** 鎌倉商工会議所 地下ホール
- 3 **事務局** 能條環境部長、高橋環境部次長、谷川環境施設課長、不破ごみ減量対策課担当課長、水島環境施設課環境施設担当担当係長、花田環境施設課環境施設担当担当係長、月花ごみ減量対策課ごみ減量対策担当担当係長、石井ごみ減量対策課環境指導監、富樫環境施設課環境施設担当、遠藤環境施設課環境施設担当、中村ごみ減量対策課ごみ減量対策担当
- 4 **出席者** 26 名
- 5 **内容**  
鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画（素案）について
- 6 **配付資料**
  - (1) 鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画（素案）
  - (2) 説明資料 鎌倉市のごみ処理行政について
  - (3) 説明資料 鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画（素案）
  - (4) 将来のごみ処理体制についての方針（概要版）

### 7 説明会概要

資料に関する説明を谷川環境施設課長が行った後、質疑応答に入り、その内容については次のとおりです。

**出席者** 市の説明からは、非常によい方針のように思え、住民から反対を受けるようであれば、焼却施設はないほうがよいと聞こえます。しかし、事実としては疑問を感じています。これを実現していくためには、ごみを減らす必要があります、市民の努力が前提となっています。人口の減少、高齢化を背景としていますが、鎌倉地域の開発状況、深沢地域の整備なども含め、人口は増えていくのではないのでしょうか。

**市** 人口については、鎌倉市人口ビジョンに基づいた数字を使用しています。日本全国において人口が減少していく傾向にある中で、全国と比較すれば緩やかではあるものの、開発等による増加を含めても、人口は減少していく傾向となっています。

**出席者** 2市1町のごみの総排出量が 23%の逗子市が 65%の鎌倉市のごみを受け入れてくれることを納得しているのでしょうか。議会や市民が納得したとしても、条例やその他のルール等はどのように手続きがなされていくのでしょうか。また、その見通しはいつになるのでしょうか。

**市** 行政間では合意しています。逗子市の市民については、施設周辺である池子の自治会の役員には事前に説明をしており、協議を進めることについては了承を得ているとのこと。今後、本市と同様に、市民に説明していくこととしています。

今後の進め方については、パブリックコメントを実施して市民の意見を踏まえて、議会に報告し、素案を最終的に計画としていくことを考えています。議会の承認につ

いては、逗子市への事務の委託の際、また、事業に対する予算の審議において、議決を得る必要があります。

**出席者** P55 の逗子市焼却施設稼働停止後の概念図において、名越クリーンセンター跡地に可燃ごみの中継施設、今泉クリーンセンター跡地に生ごみ処理施設を建設するとしています。中継施設では、逗子市及び葉山町のごみを搬入して積み替えを行うとしています。市は、山崎の地元住民の合意を得られず、焼却施設の建設を断念しました。名越、今泉においても、地元はかなり反対していると聞いておりますが、今後、合意を得られるのでしょうか。現在、今泉では、名越へごみを中継していますが、臭いがひどいと聞いています。

**市** 施設周辺住民との協議につきましては、素案の確定後、連絡協議会において協議を行う予定としていました。今後、十分、説明を尽くして、合意を得ていかなければならないと考えています。現在の今泉の臭いについては、住民の皆様にとってストレスとなっていると認識しており、どのような対応が可能か検討しています。

**出席者** 逗子市、葉山町がはっきりと了承したわけではないと捉えています。市の新庁舎を深沢に建設するということではありますが、深沢にはかなり広い土地があり、市役所に合わせて焼却施設を建設できるのではないのでしょうか。東京の施設などは、焼却施設のエネルギーを利用した素晴らしいスポーツ施設などが併設されています。そのような検討ができないのでしょうか。

**市** 焼却施設の効率性を考慮しますと、鎌倉市の規模では、施設を造るか造らないかの分岐点に近いこととなります。人口減少等もある中で、あらためて検討を行い、施設を建設しないという結論としました。

**出席者** 逗子市焼却施設稼働停止後は、可燃ごみの処理を民間に委託するというのでしょうか。民間でも地元住民の反対があるのではないのでしょうか。名越の停止が令和7年となっていますが、減量を達成する年度が令和11年度になっており、順番が逆ではないのでしょうか。その間、逗子市で処理しきれないごみが発生すると思われませんが、どうやって処理をしていくのでしょうか。

**市** 逗子市焼却施設稼働停止後は、広域ブロックの拡大の動向を見ながら、民間の処理事業者への委託を行っていきます。2市1町の中で焼却施設を持つことは非効率であるため、この素案の中で、施設を持たないという結論としました。逗子市の焼却施設を効率的に維持管理していくために、処理量を上限年間2万トンとしています。令和7年の時点では、2万トンを超える分があり、鎌倉市から市外の民間事業者等への委託による処理を行っていくとしています。

**出席者** 私は逗子市の市民です。この計画について、安定面、環境面などで検討したとしていますが、感情面という話が抜けており、市民の意見が入っていない計画であると感じています。鎌倉市が施設を新設し、逗子市、葉山町のごみを処理すれば、適正な広域化ということになるのではないのでしょうか。逗子市は財政に問題を抱えている中で、財政面でどのようなメリットがあるのでしょうか。また、ゼロ・ウェイストを目指すのであれば、減量する量については実績を示して、それぞれのごみをどう減らせるか数字で理解できるような見せ方をする必要がありますのではないのでしょうか。

**市** 焼却を逗子市が担うとしている中で、鎌倉市の役割は、逗子市焼却施設の稼働停止後、中継施設を担うとしています。いずれにしても、逗子市民の皆様も含め、2市1町で市民に説明を行い、理解を得ながら進めていきたいと考えています。また、今後、パブリックコメント等を行っていく中で、多くの意見を聞いていきたいと考えています。処理の経費については、量に応じて各市町が負担することになり、鎌倉市が令和11年度に2万トンのうちの1万トンの処理分を担うことになるため、概算では、令和11年度に5億8千万円の経費がかかる中で、約2億9千万円を鎌倉市が負担することになります。行政間では、この素案の内容で合意ができています。

**出席者** 市の説明では全く納得がいきません。生ごみを分別するのは、さらに市民に負担をかけることになります。生ごみの資源化はどのように行うのでしょうか。また、今年は大きな台風がありましたが、災害時における広域処理は問題がないのでしょうか。

**市** 生ごみの資源化については、費用をできるだけ抑える方法で行うとして、好気性微生物による発酵を活用して約90%以上減容し、残った10%を堆肥化することを検討しており、逗子市、葉山町でも同様の手法で進めています。災害時の対応については、現在、県外の民間事業者3者と災害協定を締結しています。また、県内の各市町村と神奈川県、さらに様々な場所の民間事業者などと協定の締結に向けて話し合いを進めているところです。

**出席者** 財政面について、焼却施設を建設した場合とそうでない場合で約70億円の差があるということですが、人口が減れば削減されるのではないのでしょうか。施設を建設すると290億円かかりますが、建設しなければ約220億円がすべて委託料になってしまいます。これらの内訳に何が含まれているのかわかりません。人口あたり、世帯あたりいくらかかるというように考えるべきではないのでしょうか。

**市** 経費の試算については、施設を建設した場合は、施設建設費の約100億円、毎年の維持管理費から売電分を差し引いた年間約4億5千万円の30年間分、その他、必要な大規模改修にかかる費用等の合計から、国の交付金を差し引いて、総計292億円と算出しています。建設しない場合では、広域を想定して、逗子市へ委託する1トンあたりの処理単価、稼働停止後に民間委託とした1トンあたりの処理単価、生ごみ処理施設の建設とその維持管理として約35億円、紙おむつの資源化にかかる費用約24億円、中継施設の建設、維持管理等にかかる経費の合計で約222億円と算出しています。

**出席者** これまで深沢に焼却施設を建設することを検討したことがあるのでしょうか。深沢であれば、レジャー施設などを併設し、若い人の働き場所を作ることも可能なのではないのでしょうか。人口を増やすことを考える必要があると思います。2市1町の中で3分2のごみを排出している鎌倉市が、相応のことをやらなければならないのではないのでしょうか。また、施設を造らなければ二酸化炭素排出量が減るのは当たり前のことだと思います。

**市** 焼却施設の建設候補地を山崎に決定する前に、4つの候補地に絞った中に深沢が入っていました。山崎浄化センターと併設することで、エネルギーの有効利用が可能といった観点から、他の候補地より優れているということで、最終的に山崎に決定した

経過があります。その検討の中で、どの候補地に建設しても施設の建設には同様の費用がかかるため、施設建設以外にかかる費用が、それぞれの候補地でどれくらいかという比較検討は行っていました。

**出席者** 今回の方針にある、焼却施設を造った場合は 292 億円、造らない場合は 220 億円といった検討は、深沢に造った場合の想定で行っていないのでしょうか。

**市** 今回と同様の検討は行っていません。

**出席者** 第 3 次一般廃棄物処理基本計画では焼却施設を造るとしていました。それができなくなったから、単純に逗子市にお願いするということでは、市の行政の在り方について、安易な考え方であると思っています。2 市 1 町で覚書を取り交わしていますが、逗子市に焼却をお願いするといった詳細なことは書いてありません。逗子市は本当に了承しているのでしょうか。今後、この素案のとおり進めていくことが可能なのでしょうか。

**市** 行政間では理事者も含めて、合意ができています。今後、2 市 1 町全てでパブリックコメントを実施し、逗子市の皆様にも理解をいただきながら計画の策定を行い、2 市 1 町で具体的にごみ減量・資源化を進め、この計画を実現していきたいと考えています。

**出席者** 今日来ている逗子市の市民の方に、どう思っているのか伺ってよろしいでしょうか。

**出席者** 私は逗子市の市民です。本日、逗子市でも説明会がありますが、ほとんどの人がそのことを知りません。私が利用している SNS 等では、ほとんどの人がこの計画に反対しています。逗子市の施設も老朽化しており、2 市 1 町のごみを処理することは、施設に過剰な負荷がかかるのではないかと不安を感じています。鎌倉市長のハンドリングの失敗、政治家としての失敗という印象を受けています。逗子市は財政難であるため、鎌倉市、葉山町のごみを処理することで、財政的にメリットがあるということであれば、少しは理解できるものの、感情面では受け入れられません。ブランド力のない逗子市が、鎌倉市、葉山町というブランド力のある自治体のごみ箱として扱われているという印象です。

**出席者** 燃やすごみを 1 万トンにするということですが、これ以上の減量のために、分別をどう行っていくのでしょうか。また、ごみ処理施設は、一般的に清掃工場と言われ、悪いイメージがありますが、今の技術では、燃やすだけではなくて、エネルギーの回収を行うことができます。ただし、鎌倉市の量では、ごみが少なく、効率が悪いのです。焼却施設の建設ではなく、資源化を行うことを考えた方がよいと思っており、今の技術では、それが可能であると考えています。今後、資源化施設建設の検討の余地はあるのでしょうか。

**市** 家庭系ごみの分別については、生ごみの分別を、新たにお問い合わせしていかなければなりません。生ごみを分別するとなれば、現在、実際に分別を行っている自治体等の手法を研究し、市民の皆様にもわかりやすくお知らせできるようにしていきたいと考えています。紙おむつについては、燃やすごみの有料化を行っている中で、袋を分ければ無料としており、ある程度分別が進んでいると考えています。また、事業系について

は、事業系生ごみは生ごみ資源化事業者への搬出を促していくとともに、事業系ごみそのものを資源化可能な施設整備を行う民間事業者があるため、市で事業系ごみを受けて、応分の処理費用をいただいて、民間事業者の施設に搬出し、資源化を行うことで、事業系ごみの全量が資源化可能と考えています。その他、新たな資源化の技術の進展については、処理の確実性、処理にかかる費用等を考慮しながら、調査、研究していく必要があると考えています。市での施設整備については、生ごみの資源化施設と中継施設を考えています。紙おむつの処理については、市で施設を造るのか、民間に委託するのか、様々な状況を見て検討していく必要があると考えています。

**出席者** 私は山崎の周辺住民です。私達は、市が新焼却施設の建設候補地を山崎にしたことに対し、周辺 11 の自治会で「新ごみ焼却施設建設に反対する住民の会」を結成し、施設建設に反対してきました。3月に、市から焼却施設を造らないとした新たな方針を公表され、私達は安堵しているところです。山崎の住民が反対しなければ、今日のような混乱は招かれなかったという声も聞いており、理解もしているところですが、山崎には既に鎌倉の下水を処理している浄化センターがあり、様々な臭い、振動等の解決していない多くの問題があります。これに加えて、さらに焼却施設を造るということに対して、私達は反対しているのです。このまま、立ち止まってしまっているのでしょうか。令和7年3月に名越クリーンセンターが稼働停止するという状況で、このまま手をこまねいていたら、鎌倉がごみでいっぱいになってしまいます。市の方針が紆余曲折した結果であるということは確かですが、市が2市1町の計画を作ったということについて、私は評価をしています。これしか道はないのではないのでしょうか。深沢で市役所新庁舎の隣に一緒に焼却施設を造ればよいという提案もしてきましたが、市からは、施設を建設せず広域で取り組んでいくという結果が出されました。現時点で、生ごみ資源化施設、中継施設、逗子市民の感情等、多くの課題があり、かなりハードルは高いと思っていますが、あれはだめ、これはだめと反対しているだけでは問題は解決できないのではないのでしょうか。現実を踏まえ、私達市民が環境部の力になっていくことが必要なのではないのでしょうか。これまで、焼却施設の建設に反対し、市と様々な話をしてきた中で、一人ひとりが、ごみの問題を自分の問題としてとらえていく必要があると感じているところです。